

OBON 2015

個人の遺留品をご遺族の元へ



誰でも一人一人に家族がいます

素敵なクリスマス、新年をお迎え
下さい。

もし、あなたの2015年が素敵な年であったなら、
OBON2015への寄付は、(米国の納税者にとって)税金の
控除対象であることを思い出してください。詳しくは、
contact@OBON2015.comへお問い合わせ下さい。
皆様方の温かいご支援、有難う御座います。

目次

Page 2: 珍しい文字

Page 3: 珍しい文字

Page 4: 出征の日

Page 5: 調査の一例

Page 6: 寄付のお願い・連絡先

珍しい文字

兵士の家族につながる手がかりを見つけるために、我々は専門知識を持った調査員達と密接に協力し、寄せ書き日の丸を一枚一枚分析します。時折、調査員は非常に難しい難問に直面します。下記の日章旗は、その例です。



この日の丸は、極端な筆記体で書かれているように見える2文字があります。調査当初は、文字の方向も分かりませんでした。



周囲の漢字を基準とすれば、この見方が正しい方向であるように見えます。



しかし、筆の跳ね具合を基準とすると、この見方が正しいようにも見えます。

この文字は、ひらがなやカタカナではありませんし、漢字でもないのですが、運よく調査員の一人が、この珍しい文字に関する知識を持っていました。

この文字を読み解くためには、1200年前の日本の学者について知らなければなりません。

(次ページに続く)

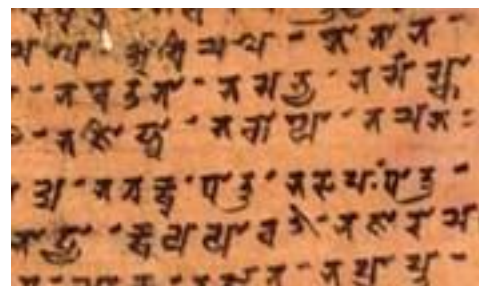
珍しい文字

西暦 774 年、空海は四国の豪族の家に生まれました。



空海は、20 代前半の時、仏教の研究を一時中断し、大日経¹の研究を行っていました。この重要な経典はインドから直接日本へ渡ってきたため、翻訳が存在しませんでした。そのため、空海はサンスクリット語を学びに、804 年、中国を訪れました。

空海はすぐに梵字（右例）を習得すると、日本へ帰国し、彼の新しい知識を広めました。当時、日本の僧侶は中国語から文字を借りた万葉仮名を主に用いていましたが、帰国した空海は、新たな文字を創造するのに十分な語学能力と教養を習得していました。



空海は梵字を細かく分類し、それらに日本語の音韻を割り当てました。彼の文章（左）は、その過程で作られた文字です。

（他の学者の協力も得ながら）空海の才能は、やがて日本独自の文字、ひらがなとカタカナの創出へとつながりました。ひらがな（右）とカタカナは、現在でも日本全国で使用されています。



この日章旗の 2 文字は、現在も日本の真言宗の僧侶によって使われている梵字だと判明しました。

上部の文字（“サン”と発音）はおそらく 12 天將軍のうちの一人、ビカララ神を指します。下の文字（“バ”と発音）は西を守備する、と訳せます。

2 文字をまとめると、“サンバ”とは、東側から迫り来る侵略者から故郷を守ろうとする戦士に対し、ビカララ神の加護を祈願していると、推測されます。

訳者注：このニュースレターを翻訳している 2016 年 9 月現在、この日章旗の持ち主は判明していません。新しい情報が見つかり次第、OBON ソサエティのページ <http://obon2015.com/id/2014-1129.html> に掲載される予定です。

¹ 訳者注：原語” Mahavairocana Sutra”。大日経に関しては、下記を参照してください。
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E6%AF%98%E7%9B%A7%E9%81%AE%E9%82%A3%E6%88%90%E4%BB%8F%E7%A5%9E%E5%A4%89%E5%8A%A0%E6%8C%81%E7%B5%8C>

出征の日



通常、出征前の兵士は家族や級友、時には、同僚、隣人、友人達と共に写真を取ります。しかし、この写真に写っている人々は、兵士とどのような関係があるのか分かりません。

男性は西洋風背広あるいは軍服に身を包んでいますが、女性は様々なスタイルの服を着ています。中央の女性は、着物に下駄をはいていますが、その隣の若いおしゃれな髪形の女性は、お洒落なスカート、ブラウス、靴と靴下を身に着けています。一部の女性は、学校の制服を着ているように見えます。

ここに写っている人々の所在は不明ですが、彼らが記した寄せ書き日の丸には、この出征する兵士への想いが込められていることは確かです。

この歴史的な写真は、ケント&ノリコ・プルメイ夫妻が入手後、OBON2015へ寄贈頂きました。私達がお預かりした遺留品は全て、歴史資料として日本へ返還される予定です。

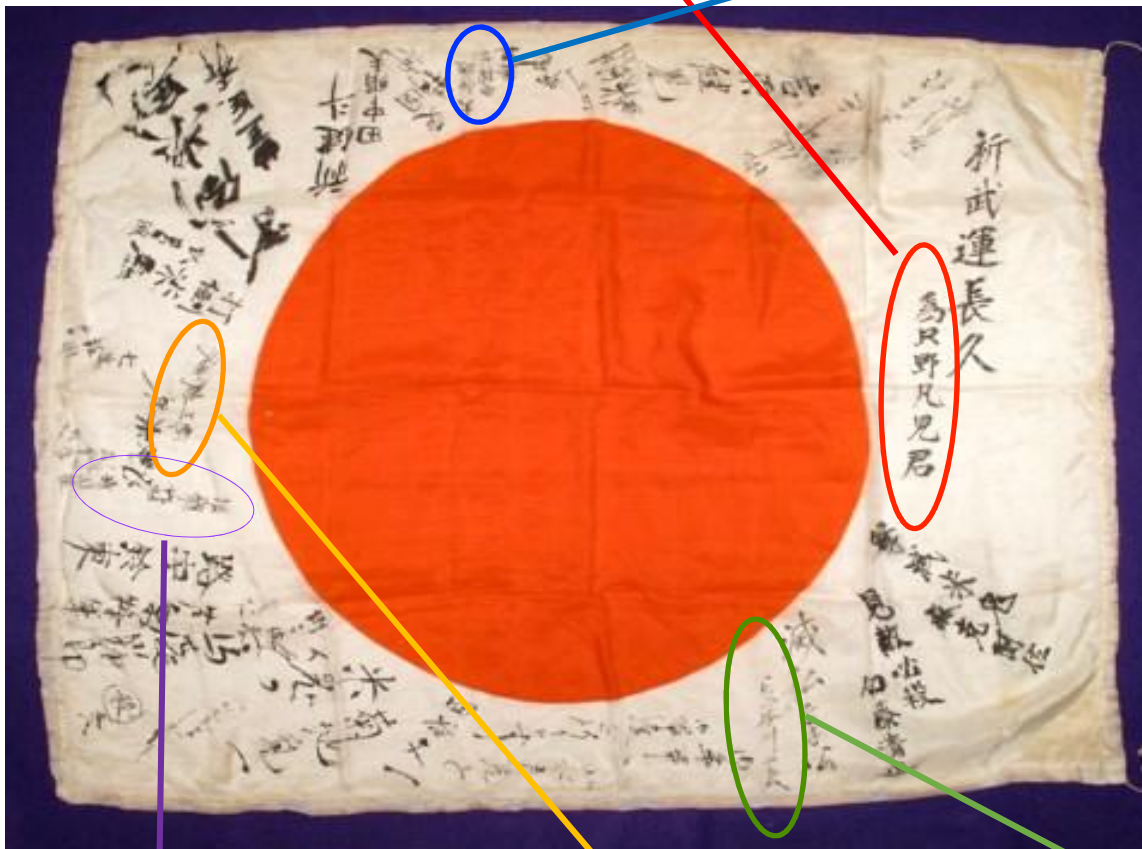
調査の一例

OBON2015の調査員は、お預かりしたすべての遺留品を調べて、元の家族につながる手がかりを徹底的に探しています。時折、驚くような品物を受け取ることもあります。最近、ありえない名前を含む寄せ書き日の丸を受け取りました。このユニークな日章旗は、兵士にユーモアを届けるために作成されたか、あるいは、戦後、占領軍相手の土産物として作成されたのもしれません。



この日章旗は只野凡児氏のために作りました。しかし、この名前は、1933年頃新聞に連載されていた漫画（右上）のキャラクター名です。その後、只野凡児は映画化もされました。

「鎌足」は藤原鎌足を指している可能性があります。藤原鎌足は、只野凡児シリーズに多く出演した喜劇役者です。



猿飛佐助は、小説に登場する架空の忍者です。

徳川家康は、江戸時代の最初の将軍です。

長谷川一夫は、有名な日本の俳優です。

寄付のお願い・連絡先

当団体は、皆様からの寄付により活動しています。

宛先

アメリカ在住の方 (501(C)3 を通じた税金控除の対象となります)

AVA/OBON Society
P.O. Box 282
Astoria, Oregon 97103

日本在住の方 <ゆうちょ銀行からの振込>

記号：14450 番号：16577781
名前：OBON ニセンジュウゴ

<他金融機関からの振込>

振込先銀行名：ゆうちょ銀行
店名：四四八（読み ヨンヨンハチ） 店番：448
口座番号：1657778
口座名：OBON ニセンジュウゴ

（「OBON2015」は、2015年の日章旗返還を目指した、OBON ソサエティの前身名です）

皆様から頂いた寄付金により、より多くの遺品を返還することが可能になります。

日章旗をお持ちの方、また、所有されている方をご存知の場合は、当団体までご連絡ください。日章旗・その返還方法に関して、ご質問があれば、ご遠慮なくお尋ね下さい。我々は日章旗の返還に、使命と情熱をもって、取り組んでまいります。



OBON Society

P.O. Box 282
Astoria, Oregon 97103
contact@OBON2015.com